

パンダの手には、かくされたひみつがあった！

山本省三作 喜多村武絵 くもん出版

きみが物をにぎるときの手を、よく見てみよう。親指が、大切な^{たいせつ}はたらきをしていることがわかるはずだ。手で物^{もの}をにぎることはヒトやサルの中なかまがもつ、なかなかまねのできない、すぐれたわざなんだ。でも、物^{もの}をにぎれる動物^{どうぶつ}が他^{ほか}にもいる。ジャイアント・パンダだ。竹^{たけ}をにぎって食^たべている手^ては、ヒトとは形^{かたち}がずいぶんちがう。いったいどうやってい^いるのだろうか？

パンダの手^てをしらべていた動物学^{どうぶつがく}者の遠藤^{えんどう}さんは、その手^てにかくされたおどろくべきひみつを発見^{はっけん}した！

